

けんぱくものしりシート

ケラ



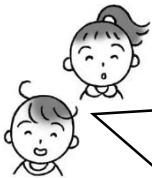
もう6月だね。6月と言え
ば梅雨だね。



そうね、雨が多くなる季節
よね。そうそう、ケンくん、
これ知ってる？
昔の雨具なんだって！



え？これが雨具？
もしかして、昔のレインコート？



わたしたちの持っている
レインコートとは全然違
うよね。



そうなの。これはケラと言
って、雨を防ぐために、衣
服の上から身に着けるもの
よ。長い間ケラは雨具とし
てかかせないものだったの
。その他に寒さを防ぐため
に使ったり、荷物を運ぶ時
に背中と荷物のクッション
代わりとして使ったり、野
山でお昼ごはんや休憩の時
などは、座布団のように使
ったそうよ。雨具としてだ
けではなく、雨の中の労働
着としても欠かせないもの
だったそうよ。



呼び方も、ケラ他に“ミノ”
や“ケダイ”など、地域や
使い方、形によって様々
なのよね。あと、『日本書
紀』という今から1300年
前の古い歴史の本にもミノ
という言葉が記されていて
、昔から使われていたと考
えられるっていう話を学芸
員さんから聞いたことがあ
るよ！



へえ～！ところで、このケラは、何でできているの？



このケラはシナノキ（岩手県ではマダとも言う）という木の皮でできているのよ。



木の皮？木って硬いのはどうやって作ったの？



シナノキ



まず、シナノキを倒し、なたで木の皮をはがすの。その皮を1か月以上水につけておくと、1枚の皮が何枚にも薄くはがれるの。それはとても薄くて、むこうが透き通って見えるほどなの。それを使って、ひもや糸などで丁寧に編んで作ったそうよ。あと、このケラの色が濃い部分はヤマブドウのつるが使われているの。



ケラが雨にぬれて、中に着ている服がびちゃびちゃにならないのかな？



ケラの編み方を見て！鳥の羽のようにふさふさにしてるでしょ。それで雫を落ちやすくしているのよ。さらに裏側は固くしっかりと編んでいるの。だから、よほど長い間強い雨にあたらぬ限り、服がぬれることはないそうよ。



これはどうやって着るの？エプロンのように前につけるの？



このケラはこんな風におおうように着るのよ。このように着ると腰をかがめて作業をする時もぬれにくいわ。あと、ここにはないけど、両肩や腰だけをおおう小型のもの、フード付きで体全体をおおうものなど様々あるのよ。ここではケラを試着できるからぜひ試してみてね！



参考にした本『岩手おもしろ再発見』岩手日報社 1995年

らいげつ 来月(7月)の
けんぱくものしりシートは
ちしつ 地質-21だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。